



夜の雪外燈無音のシンフォニー	水槽の底からはがす寒鮎	獅子頭外し暫く人でなく	並びたる同形異夢の寒卵	逆光の暗みへ隠る鎌鼬	一村を温むるやうに冬霞	晴れ渡ることの淋しさ冬の蝶	春光をまぶし漢江たうたうと	春雪の未練は汚れ易きかな	リア王の長き独白冬銀河	陽を恋うて細くなりたる氷柱かな	花の兄や死装束の荒行僧	さてさてと俎上の海鼠口どちら	寒卵はつと生まるる向学心	注連飾る千代の天突く御神木
宮坂 秋湖	中村 重幸	浜田はるみ	村上 葉子	澤田 英紀	川高郷之助	須賀ゆかり	広海あぐり	菅原 健一	本池美佐子	中谷 恭子	柿内 清一	吉村さよ子	古谷由紀子	長山 正子
とんがつて生くるも一世鳥雲に	浅春や指輪休めの貝の皿	立春大吉水は両翼揚げたり	夜の雨の弾力をもて春来る	芽起こしの雨かスープの豆の色	縄文の水の楽想草つらら	一月の山のこだまは行つたきり	一献が入り雪焼の頬なほも	小波は光のかけら春近し	つややかに餡炊き上ぐる雨水かな	水鳥をびつしりのせて潮しづか	白雲の墨汁ほかし雪来るか	立春大吉五枚複写に力込め	斜めとは急ぐかたちや春北風	立春の光の中の精米機
千田 百里	辻 美奈子	平松うさぎ	甲州 千草	辻前富美枝	矢崎すみ子	能美昌二郎	大畑 善昭	栗原 公子	田所 節子	大川ゆかり	細川 洋子	林 昭太郎	七田 文子	小林 陽子

沖 の 水 脈

